

グー パー 運 動

1. グーパー運動とは

重機の作業エリアに立ち入る場合、立ち入る者は「パー」で合図し、重機の運転者は「グー」で確認の合図を出し、お互いに安全確認する運動をいう。下記にその詳細を示す。

作業エリアに立入る時
①立入り者は、重機運転手に、 <u>正面から合図</u> 「手をあげて、パー」 をして立ち入りの意思表示をする。 ②運転手は、 <u>作業を止め</u> バケットを地面に置き、安全レバーでロックし、エンジンを止めるかアイドリング状態にし、 <u>了解の合図</u> 「グー」 を返す。 ③立ち入り者は、了解の合図確認後、必ず運転席側より、作業エリアに立ち入る。
作業エリアから退去する時
①立ち入り者は、重機作業半径（作業エリア）外に出て、運転手に合図 「手を回す」 をする。 ②運転手は、 <u>合図確認後作業を開始</u> する。
その他注意事項
①重機作業する事業者は、必ず作業半径内立ち入り禁止措置を講ずる。 ②同上において、混在作業で人が立ち入る危険があるときは、誘導員を配置し、周知徹底を図る。

2. 主旨徹底

グーパー運動の趣旨を周知徹底するため、現場では以下の事項を実施すること。

ポスター掲示
①現場では、配付されたポスターを目立つところに掲示し、「グーパー運動」の主旨を、重機作業の度に朝礼等で周知徹底する。
ステッカー貼付け
①テッカーを、今回の「グーパー運動」開始時に、現場責任者全員へ1セット配付する。（今回2セット以上必要な場合や、今後不足する場合は、安全管理本部各本支店の安全管理部門に申込むこと） ②ステッカーは、「重機本体用」と「運転席用」の2種類のマグネット板で1セットとなっている。 ③工事責任者は、持ち込み受理証と一緒に職長にステッカーを手渡しする。 ④職長は、運転手にステッカーを手渡しすると同時に関係者に「グーパー運動」の周知徹底を図る ⑤運転手は、それぞれ目立つところへ、ステッカーを貼る。

『グーパー運動』は作業員が重機に挟まれたり接触したりしないようにすることが目的です。ステッカーを貼れば『OK』ではありません。

『グーパー運動』の主旨と目的を徹底してください。

